

NOVA AONIC LIGHT

アオニックライト



AONIC Light - "A" High-Light

サイズ	XXS	XS	S	M
セル数	49			
投影翼面積 (m ²)	18.87	20.84	22.76	24.82
翼面積 (m ²)	22.32	24.64	26.92	29.35
投影スパン (m)	8.09	8.5	8.89	9.28
スパン (m)	10.75	11.29	11.8	12.32
投影アスペクト比	3.47			
アスペクト比	5.17			
機体重量 (kg)	3.4	3.7	3.9	4.2
フライト重量 (kg)	55-80	70-90	80-100	90-115
認証 (EN/LTF)	A	A	A	A

AER TACT



Blue



Red



Orange



Gold

AONIC Light - "A" High-Light

アオニックライトは空の冒険で最高の力を発揮します。意欲的なビギナー、ハイク&フライ愛好家、あるいはリラックスしたクロスカントリーパイロットのいずれであっても、人気のアオニックの軽量バージョンはあらゆる飛行ニーズに対応する高いパフォーマンスと飛行の楽しさを兼ね備えています。

テイクオフ特性が優秀生

アオニック ライトのXSサイズに試乗しました。クラウドベースが2600mに達し、テイクオフ前の前山には、北風ベースのロケット砲のようなサーマルが発生。ヨーロッパアルプスでFAITトライアングルの記録を狙えるようなハードコンディションでも、気負わずにフライトを楽しむことができるのは、大きなアドバンテージです。

まず、リバースライズアップで、ゆっくり空気を取り込んで反応を見えます。インフレーションはすこぶる良く、空気は早めに充填され、キャノピーはスムーズに弧を描きながら頭上まで上がってきます。



優秀な頭上安定特性は、テイクオフへの不安を解消してくれます。



安心感の高いスピードクルージングもスーパーAクラスならではの魅力です。

この様なサーマルコンディションでは、キャノピーは上昇気流に吸い込まれるような特性を示すことがあり、離陸を取りやめようとしても意に反して飛んでしまうケースもあります。ところがアオニック ライトはゆっくり深くブレーキングすることで、今にも飛んでいきそうなキャノピーを頭上に引き戻すことができます。「これはいい!」これがファーストインプレッションです。

疲れ知らずのサーマルセンターリング

かなりタフなコンディション。ハイバンクでコアにとどまるしかないサーマルセンターリングを強いられる状況でも、アオニック ライトのサーマル特性は優秀です。

通常、翼はサーマルコアに吸い込まれていくように反応するので、キャノピーを頭上にとどめる操作が必要です。ところがアオニック ライトはピッチアップすることがないので、サーマルの強い突き上げでも、離陸時の要領で頭上に引き戻すようなブレーク操作をし、その後でロールインすることで、バンク維持が容易にできます。

基本的に翼は上昇気流に吸い込まれていく特性を示し続けるので、バンク維持はいたって簡単。この翼だったら、FAITトライアングルの記録を出すための長時間飛行も、疲れ知らずで達成できるでしょう。

バーのベタ踏みでスピードクルージング

前山を難なく脱出したあとは、サーマル豊富な花鳥山脈をハイスピードでクルージング。ハイエンドB以上のグライダーでは、うかつにフルスピードをキープできないようなリフトラインでも、フルスピードで乗り切ることができます。

特別なスピードライザーは装備されていませんが、Cライザーを後ろに引っ張るような感じでリアライザーコントロールが可能です。スピードバー使用時、乱気流帯でリーディングエッジのテンションが抜けるような変化を感じたら、Cライザーを引っ張ることで潰れを抑制できます。迎え角を大きくして(=ブレークコードを引いて)潰れを回避するわけではないので、スピードバーを踏んだままでCライザーを引っ張る力も少なく済み、安定したハイスピードクルージングを楽しめるのです。



バンク維持が容易で、長時間フライトの疲労を軽減してくれるでしょう。



ライザー構成はシンプルで、Cライザーを使ったコントロールも有効です。

良いことづくめのスーパーAクラス

最後にアオニック ライトを選ぶべきポイントを整理してみましょう。まず軽量設計が生み出す抜群のインフレーション特性です。さらに優秀な頭上安定特性は、多くのパイロットが持っているテイクオフへの不安を解消してくれるでしょう。

ひとたび飛び立てば、その特性はバンク維持にも威力を発揮して、過剰に神経をすり減らすことなくサーマルソアリングが楽しめます。さらにCライザーコントロールを効果的に行い、ハイスピードクルージングも可能です。とにかくスーパーAクラスは、良いことづくめなのです。

センスの良いビギナーから、ハイク&フライを好むレジャーパイロット、そして楽しくトライアングルの記録を狙うスーパーパイロットまで、アオニック ライトはどんなパイロットでも楽しめるオールラウンドグライダーに仕上がっています。

Report. 扇澤 郁